

平成30年10月の研究助成公募情報

2018/10/31

HP掲載日	学内締切	募集期間	申請形態	助成名	実施機関 (URL・問い合わせ先)	対象事業	応募資格	助成額	研究期間
2018/10/31	2018/11/16	2018/11/30	電子申請 web	<p>~New~</p> <p>(株)リバネス</p> <p>リバネス研究費 ①【11/30締切】第42回リバネス研究費 日本ハム賞</p> <p>②【11/30締切】第41回リバネス研究費 オンチップ・バイオテクノロジーズ賞</p>	<p>株式会社リバネス(Leave a Nest Co., Ltd.) 〒162-0822 東京都新宿区下宮比町1-4 飯田橋御幸ビル5階 03-5227-4198 https://r.lne.st/grants/</p> <p>リバネス研究費 質問はwebから お問い合わせ:incu-be@lne.st</p>	<p>リバネス研究費は、自らの研究に熱い思いを持ったアクティブな若手研究者・大学院生のための助成制度です。</p> <p>①食の未来を創造する研究 未来の食シーンの創造につながる研究課題について、「食糧生産」、「加工・調理」、「流通・保存」、「栄養」、「消費者行動」、「サステイナブル・環境」など、幅広い分野から募集します。</p> <p>②血中循環腫瘍細胞(CTCs)の検出、解析による CTCの有用性を確認する研究</p>	<p>①②とも</p> <p>大学・研究機関に所属する40歳以下の研究者 海外に留学中の方でも申請可能 研究室に所属して研究を始めていれば、学部生からでも申請可能</p>	<p>①研究費50万円</p> <p>②研究費上限50万円+20検体のCTC解析</p> <p>※採択の場合、実施にあたってオンチップ社と共同研究契約を締結していただきます</p>	<p>研究期間は原則として「研究費支給から1年間」を目安に設定してください。</p>
2018/10/31	2018/11/26	2018/11/1~12/10	電子申請 web 2018/11/1 open	<p>大学共同利用機関 法人自然科学研究機構</p> <p>2019年度分野融合型共同研究事業 NINS JOINT RESEARCH PROGRAM 公募</p>	<p>大学共同利用機関法人自然科学研究機構 事務局企画連携課研究支援係</p> <p>TEL 03-5425-1318 FAX 03-5425-2049 Email nins-ir@nins.jp https://www.nins.jp/site/activity/1649.html</p>	<p>国内の研究機関に所属する研究者等が、自然科学研究機構に所属する職員と協力し推進する以下の取組を公募します。</p> <p>(1) 分野融合型の共同研究 (2) 分野融合型共同研究の準備のためのワークショップ等</p>	<p>申請資格</p> <p>申請代表者は、国内の大学及び公的研究機関に所属する研究者、または自然科学研究機構長がそれと同等の研究能力を有すると認める者を対象とします。(共同研究者においては、この限りではありません。)</p>	<p>申請金額</p> <p>(1) 分野融合型の共同研究年間 500万円以内</p> <p>(2) 分野融合型共同研究の準備のためのワークショップ等 年間 100万円以内</p>	<p>研究期間</p> <p>2019年度から1~3年間</p>
2018/10/31	2018/11/21	2018/12/7	電子申請 web 及び 書類申請 (申込通知書)	<p>大学共同利用機関 法人自然科学研究機構生理学研究所</p> <p>2019年度共同利用研究の公募</p>	<p>申込通知書及び研究報告書送付先 〒444-8585 岡崎市明大寺町西郷中38番地 自然科学研究機構 岡崎統合事務センター 総務部 国際研究協力課 共同利用係</p> <p>電話 <0564>55-7133(ダイヤルイン) FAX <0564>55-7119 e-mail_r7133@orion.ac.jp https://www.nips.ac.jp/collabo/top.html</p>	<p>(1) 一般共同研究 (2) 計画共同研究、課題名: ① 遺伝子操作モデル動物の作製と生理学的・神経科学的解析 ② マウス・ラットの代謝生理機能解析 ③ 先端電子顕微鏡の医学・生物学応用 ④ 多光子励起法を用いた細胞機能・形態の可視化解析 ⑤ ウィルスベクターの作製・供与、および重長類への遺伝子導入実験 ⑥ 生体超分子複合体の精製と質量分析法による同定 ⑦ 膜機能タンパク質ダイナミクスの解析</p> <p>(3) 研究会 (4) 国際研究会(NIPS International Workshop) (5) 超高圧電子顕微鏡共同利用実験 (6) 生体機能イメージング共同利用実験</p>	<p>申込資格</p> <p>大学及び国・公立研究所等の研究機関の研究者又は所長がこれと同等の研究能力を有すると認める者。</p>	<p>助成額については公募事項により異なる。 詳細は要項参照のこと。</p>	<p>いずれも2019年4月~2020年3月の期間</p>
2018/10/31	2018/11/16	2018/11/30	電子申請 QRコード からアクセス	<p>(株)リバネス</p> <p>サイエンスキャスル2018 ポスター審査員募集</p>	<p>申込みはこちらから https://s-castle.com/castleposter2018_shinsa/</p>	<p>サイエンスキャスル2018 中高生研究者とディスカッションしよう</p> <p>中高生のための学会 サイエンスキャスルにポスター審査員としてご協力くださる若手研究者を募集しています。日々大学や研究機関で先端研究に取り組まれているみなさんにとっても、キツト刺激的な一日になるはずですよ。</p>	<p>応募条件</p> <p>下記のいずれかの条件を満たしている研究者 ・博士号を取得していること ・博士課程(博士後期課程)在籍者であること ・修士課程(博士前期課程)の場合は、進学希望者もしくは、中高生への研究指導経験の実績を有していること</p>	<p>謝金・交通費等</p> <p>謝金:なし 交通費:実費支給(最大:関東・関西大会:10000円、九州大会:16000円、東北大会:20000円)</p>	-
2018/10/31	2018/11/5	<p>事前相談 2018/10/15-11/5</p> <p>申請書受付 2018/11/7~14</p>	書類申請	<p>文部科学省</p> <p>平成31年度公私立大学を対象とした共同利用・共同研究拠点(特色ある共同利用・共同研究拠点)の認定及び「特色ある共同研究拠点の整備の推進事業」の公募</p>	<p>文部科学省研究振興局学術機関課 専門職付</p> <p>TEL 03-6734-4296, 4303 FAX 03-6734-4086 Email_gakkikan@mext.go.jp http://www.mext.go.jp/a_menu/kyoten/index.htm</p>	<p>特色ある共同研究拠点の整備の推進事業の公募</p> <p>①スタートアップ支援 新たに拠点認定を受けた施設を対象に、拠点としての環境や体制の整備に係るスタートアップのための支援を行う。</p> <p>②機能強化支援 拠点認定を受け活動してきた公私立大学の拠点を対象に、拠点機能強化のための支援を行う。</p>	<p>①公私立大学の研究施設及び研究施設の一部で、平成31年度から初めて大臣認定を受ける拠点</p> <p>②「共同利用・共同研究拠点」の認定を受けている公私立大学の研究施設及び研究施設の一部。</p>	<p>①一拠点当たり年額4,000万円以内とする</p> <p>②一拠点当たり年額3,000万円以内とする</p>	<p>①原則として3年間</p> <p>②1~3年間</p>
2018/10/31	-	2018/12/中旬 (定員になり次第 早めに締切 場合や延長する 場合あり)	電子申請 web	<p>《参考》 復興庁</p> <p>平成30年度「復興・創生インターン(春期)」の実施に関する募集</p>	<p>問合せ先 (株)ノノナ・東京事務局</p> <p>TEL 03-6262-6340 FAX 03-6262-6341</p> <p>事務担当 復興庁 雇用促進班 TEL 03-6328-0274</p>	<p>復興庁では、東日本大震災で被害を受けた岩手、宮城、福島の実業において、大学生、短期大学生、高等専門学校生を対象にインターン生を募集し、実施しております。</p> <p>この事業は、学生にとっては、被災地企業が抱えている経営課題に対し、経営者と協働して解決に取り組むことにより、復興への貢献ができ、かつ、自らの成長が図れるものであり、企業にとっては、学生とともに経営改善に取り組むことにより、人材獲得力や育成力の向上を図るものです。</p>	<p>(1)対象者:全国の大学生、短期大学生、及び高等専門学校生(高専生は4年生以上)</p> <p>(2)募集人数:160名程度(1社2名程度)</p>	<p>受けられるサポート 事前研修、インターンシップ期間中の集合研修・カウンセリング、インターンシップに必要な経費の補助(旅費交通費、宿泊場所の提供、インターンシップ保険の加入料等)、インターンシップ実施後のキャリアサポート</p>	<p>① 期間:平成31年2月上旬から3月中旬までの期間のうち約4週間</p> <p>② 日時:週4日、1日6時間以上</p>
2018/10/15	2018/11/16	2018/10/1~11/30	書類申請 郵送	<p>公益財団法人日本農業研究所</p> <p>2019年度人文・社会科学系若手研究者助成事業募集</p>	<p>公益財団法人日本農業研究所 人文・社会科学系若手研究者助成事業係</p> <p>TEL 03-3262-6351 FAX 03-3262-6355 URL http://www.nohnken.or.jp/</p>	<p>研究課題 農業や食料、農村をめぐる問題について、人文・社会科学系に立ち解明しようとする研究が対象であり、特定の研究課題は設定しません。選考にあたっては、実態調査に重点を置く研究であることを重視します。</p>	<p>農業や食料、農村に関する研究を行う方で、2019年4月1日現在22歳以上35歳未満の方を対象とします。研究機関への在籍の有無は問いません。NPO関係者や現場で実践する幅広い方々からの応募についても歓迎します。</p>	<p>助成額は、35万円以内</p>	<p>2019年4月1日から2020年3月31日までの1年間です</p>

HP掲載日	学内締切	募集期間	申請形態	助成名	実施機関 (URL・問い合わせ先)	対象事業	応募資格	助成額	研究期間
2018/10/15	2018/11/1	2018/10/15～11/15	電子申請 web	資生堂 第12回「資生堂 女性研究者サイエ ンスグラント」募集	資生堂女性研究者サイエ ンスグラ ント事務局 E-mail: grant_iimukyoku@to.shiseido. co.jp 一般財団法人 国際医学情報セン ター内 〒160-0016 東京都新宿区信濃町 35 信濃町煉瓦館 E-mail: grant_iimukyoku@imic.or.jp https://www.shiseidogroup.jp/rd/do ctor/grants/science/	趣旨 優秀な女性研究者の研究活動を支援 することにより、指導的女性研究者の 育成に貢献します。 対象分野 自然科学分野(理工科学分野、生命 科学分野)いずれもご応募いただけま す。 なお、界面・コロイド化学の応募を積極 的に歓迎します。	応募資格 助成対象期間中に日本国内の大学・公的研究機関 で、自然科学分野の研究に従事する女性研究者。 ※年齢、国籍は問わない。 ※推薦者不要。自由応募による完全公募制。 ※応募時、すでに指導的役割を担われている研究者 (教授等)、大学院生・学生、企業に所属する研究者 は 除く	助成金額・件数 100万円/1件、最大 10件まで(年間総額 1,000万円)	助成期間 1年間(第12回: 2019年6月～2020年5 月)
2018/10/15	2018/11/19	2018/12/3	書類申請 郵送	国立情報学研究所 2019年度共同研究 公募	〒101-8430 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 国立情報学研究所 総務部 企画課 社会連携推進室 公募担当 TEL: 03-4212-2139 E-mail: kyoudou@nii.ac.jp 募集要項及び申請書等の様式は、 本研究所Webページからダウンロー ドできます。 http://www.nii.ac.jp/research/collab oration/koubo	いずれの共同研究の場合も、本研究 所の教員を共同研究者として含むこと とし、内1名を連絡担当教員(当該共 同研究の指導・助言等を行います。)と して指定してください。申請前に必ず連 絡担当教員と調整を行い、承諾を得て ください。 (1)戦略研究公募型【戦略】(年間15 0万円以下) (2)研究企画会合公募型【会合】(年 間80万円以下) (3)自由提案公募型【自由】(年間10 0万円以下)	申請者(研究代表者)の要件 ① 国内の民間企業等に所属する研究者 ② 国内の大学・短期大学・高等専門学校及び大学共 同利用機関等に所属する研究者並びにこれらに準ず る研究者、大学院生(ただし、社会人学生に限る。) 共同研究者の要件 ① 国内の民間企業等に所属する研究者 ② 国内の大学・短期大学・高等専門学校及び大学 共同利用機関等に所属する研究者並びにこれらに準 ずる研究者、大学院生	(1)戦略研究公募型 【戦略】(年間150万 円以下) 旅費、学会参加に係る 経費、論文投稿料等 の3点に限定します。 (2)研究企画会合公 募型【会合】(年間80 万円以下) 経費、学会参加に係 る経費、論文投稿料 等の3点に限定しま す。 (3)自由提案公募型 【自由】(年間100万 円以下) 旅費、学会参加に係 る経費、論文投稿料 等の3点に限定しま す。	2019年4月1日から 2020年3月31日ま で
2018/10/15	2018/11/21	2018/12/5	研究助成 金交付申 請書:メー ル 推薦書:簡 易書留	公益財団法人パブ リックヘルスリサ ーチセンター パブリックヘルス科 学研究助成金 2019年度応募受付	公益財団法人パブリックヘルスリ サーチセンター 研究助成事業係 TEL 03-5287-5070 (受付時間 平 日 9:00～17:00) FAX 03-5287-5072 https://www.phrf.jp/iosej/oubo.html	2019年度募集研究テーマ 1. ストレス科学分野 「ストレスマネジメント」 (キーワード:災害/コミュニケー ション/ジェンダー/ストレスチェック 制度/運動/スポーツ/対処) 2. 生命医学分野 「成長・発達と老化」 (キーワード:認知機能/エイジ ング/エピゲノム/環境応答/先制 医療)	以下の条件を全て満たす者を対象に募集を行いま す。 (1) ストレス科学研究、または生命医学研究を行 っている者 (2) 国内の非営利の研究機関に在籍している研究 者、または博士後期課程(それに準ずる課程も含む) に在籍している学生 (3) 生年月日が1979年4月2日以降である者 (4) 所属する部署の長等の推薦を受けている者 (5) 2018年度本助成金の助成対象者でない者	1件あたり50万円を上 限とし、最大12件まで 助成します。	2019年4月～2020年3 月
2018/10/15	2018/12/14	2018/11/1～ 12/28	書類申請 郵送	日本奥山学会 2019年度奥山研究 助成金募集	日本奥山学会事務局 〒662-0042 兵庫県西宮市分銅町 1-4 熊森ビル2階 TEL: 0798-22-4190 FAX: 0798-22- 4196 E-mail: contact@okuyama- society.org URL: http://okuyama- society.org/	日本奥山学会 奥山研究助成金は、 奥山の保全・再生に有益な研究・活動 等(奥山生態系、林業、水源、鳥獣対 策、奥山利用の歴史、法整備、文学、 災害等)に携わる学部生・院生など主 に若い研究者に対して助成を行う事業 です。 個人・団体が、奥山研究分野の向上 発展に寄与する有益な研究・活動等を 対象とします。	奥山*に関する研究を実践している個人または団体 *奥山: 人里をはなれた奥深い山。深山。 応募者が計画の推進に責任を持ち、助成金の管理及 び報告を行うことを条件とします。	助成金額・使途 1件あたり10万円まで とします。 助成金の使途は、研 究の遂行に必要な設 備用品費、消耗品費、 旅費、謝金、印刷製本 費等です。飲食費は助 成の対象となりませ ん。	助成期間は、2019年 4月1日～2020年3月 31日の1年間としま す。
2018/9/28	2018/11/16	2018/10/1～ 11/30	書類申請 郵送	公益財団法人SBS 鎌田財団 2018年度研究助成	公益財団法人SBS鎌田財団事務局 TEL 03-3829-2367 Email kamatazaidan@sbs-group.co.jp URL: http://www.sbs- kamatazaidan.or.jp/	物流の振興・発展に資する ①学術研究 ②研究会、シンポジウム、セミナー 等の開催 を対象とします。 ※学術研究のテーマの例としては、物 流の効率化を進める取り組み、貨物輸 送の安全向上を図る取り組み、物流 の仕組みの改善を通じて地球環境負 荷の低減(CO2排出の削減)を図る取 組み等が挙げられます。	大学・大学院・その他研究機関に在籍し、物流分野に 係る研究活動に従事する個人または団体を対象とし ます。	総額300万円、一件 あたり限度額を50万 円とします。	2019/4～2020/3ま での1年間とします。
2018/9/28	2018/11/30	2018/12/14	電子申請 Email	大学共同利用機関 法人情報・システ ム研究機構国立遺 伝学研究所 2019年度国立遺伝 学研究所共同研 究・研究会の公募	国立遺伝学研究所 総務企画課研 究推進チーム TEL 055-981-6728 Email kyodo@mail.nig.ac.jp https://www.nig.ac.jp/nig/ia/researc h-infrastructure-collaboration/nig- collaboration-grant	(1) 共同研究 「共同研究」とは、本研究所の教員と 他機関の研究者が特定の研究課題に ついて本研究所の施設・設備を利用し て共同で行う研究で、次の3種類に分 けて募集を行います。支給する旅費に ついては、原則として所外の共同研究 者(本研究所を訪問するためのもの)と なります。 ① 共同研究(A) ② 共同研究(B) ③ 国際共同研究 (2) 研究会 「研究会」とは、所内及び所外の比較 的少数の研究者で実施する研究集 会です。研究会は本研究所での開催 を条件としますので、支給する旅費に ついては、所外の研究者が本研究所 を訪問するためのものとなります。(所 外での開催は不可。)	(1) 共同研究 ① 共同研究(A) ・対象は国内及び国外の研究機関等に所属する研究 者とし、共同研究を実施するための旅費を支給しま す。 ② 共同研究(B) ・対象は国内及び国外の研究機関等に所属する研究 者とし、本研究所に來所して共同研究を実施するた めの旅費及び研究費(原則として所内で使用する消 耗品費等)を支給します。 ③ 国際共同研究 ・対象は国外の研究機関等に所属する研究者とし、 共同研究を実施するための旅費を支給します。 (2) 研究会 ・対象は国内、国外の研究機関等に所属する研究者 及び所内研究者とし、研究会に参加するための旅費 を支給します。	(1) 共同研究 ① 共同研究(A) ・1件あたりの申請額 は200千円を上限と します。 ② 共同研究(B) ・1件あたりの申請額 は、旅費と研究費の合 計で1,000千円を上 限とします。 ③ 国際共同研究 ・1件あたりの申請額 は共同研究(A)の上 限(200千円)を超え る申請額で500千円 を上限とします。 (2) 研究会 ・1件あたりの申請額 は、500千円を上限と します。	(1) 共同研究 研究期間は、2019 年4月1日から2020 年3月31日までとし ます。 なお、同一研究課題 での継続申請につ いては、3年までとし ます。 (2) 研究会 開催は、2019年4月 1日から2020年3月 31日までの期間内と します。

HP掲載日	学内締切	募集期間	申請形態	助成名	実施機関 (URL・問い合わせ先)	対象事業	応募資格	助成額	研究期間
2018/9/6	随時	随時	web参照	南相馬市 みなみそうま復興 大学事業	南相馬市 みなみそうま復興大学事業 TEL 0244-23-5511 http://www.city.minamisoma.lg.jp/ind ex.cfm/29.html	●シェアオフィス(最大30人程度)の無償貸し出し Free Wi-Fi、ホワイトボード、ロッカー等完備 ご利用時間 月～土(日曜、年末年始を除く) 10時から17時 ●レンタカーの無償貸し出し(燃料費は自己負担) ご利用期間:年末年始(12月29日～1月3日)を除き、いつでもご利用可能です。 ●宿泊施設の無償提供 ご利用期間:年末年始(12月29日～1月3日)を除き、いつでもご利用可能です。 ●補助制度 大学等が南相馬市内において、市の地域課題の解決に資する調査研究に要する経費に対し、補助金を交付いたします。 補助率:10/10(上限額30万円) 対象経費:報償費、旅費、需用費、役務費、委託費等 ●地域とのコーディネート 地域の住民、団体、企業等とのコーディネートやガイド、視察対応等、要望に応じて幅広くコーディネートいたします。	●補助制度について 大学等 ●各種支援の利用申込みについて 各種(シェアオフィス、宿泊施設、レンタカー)利用申込みについては、利用申込書にて利用開始予定日の2週間前までにお申し込みください。 ●申込み方法 お電話又はメールでお問合せください。 TEL:0244-23-5511 E-mail: fukkoudaigaku@city.minamisoma.lg.jp	補助制度について 補助率:10/10(上限額30万円) 対象経費:報償費、旅費、需用費、役務費、委託費等	記載無し
2018/9/6	随時	募集期間 随時募集 申請から可否の決定に至るまでは3ヶ月程時間をいただいております	書類申請 郵送	公益財団法人日本ユニフォームセンター ユニフォーム基礎研究助成	申請書提出先・問合せ先 〒107-0051 東京都港区元赤坂1-4-21 公益財団法人 日本ユニフォームセンター 『ユニフォーム基礎研究助成』係 TEL 03-3401-2111 FAX 03-3402-2667 http://www.nuc.or.jp/	公募テーマ A)人工知能(AI)技術を用いた新しいユニフォームに関する研究 B)非接触型技術などの新しい身体測定に関する研究 C)ユニフォームの本人認証・物流管理、効率化のためのRFIDタグ活用に関する研究 D)防災・セキュリティに関連するユニフォームの研究 E)高視認性安全服、熱中症対策ユニフォームに関する研究 F)職場における女性活躍促進などに関するユニフォームの調査研究 G)ユニフォームの国内縫製の実態調査 H)ユニフォーム各分野の市場調査研究 I)諸外国におけるユニフォームの調査	ユニフォームに関する諸研究全般に取り組んでいる個人及びグループ。(大学・専門学校などの教職員・学生・研究生及び一般)	助成件数・助成金額 50万円～100万円/1件/1年	原則として1年間
2018/9/6	2018/10/26	2018/11/9	書類申請 郵送	公益財団法人石本記念デサントスポーツ科学振興財団 第41回(2019年度)学術研究募集	公益財団法人 石本記念デサントスポーツ科学振興財団 編集局 〒567-0086 大阪府茨木市彩都やまぶき2-3-2(株)デサントR&Dセンター内 TEL 072-649-0920 FAX 072-649-0920 ホームページアドレス http://www.descente.co.jp/ishimoto/ E-mail: zaidan@descente.co.jp	学術研究テーマ : 第一部 課題学術研究 本年度テーマ 1「暑熱環境下における快適性を実現する手法に関する研究」 2「衣服内環境を快適にする湿度をコントロールする手法に関する研究」 3「運動後のリカバリーに有効なクールダウンを実現する手法に関する研究」 4「運動時におけるウェアに関するシミュレーションシステムの構築」(衣服圧、エアロダイナミクス、衣服内温湿度分布など) 第二部 自由課題学術研究 本財団の主旨に添ったものであり、申請者がこれまで行って来た研究を助成することによって、調査・研究の発展・充実が期待されるものであること。	1 体育学、健康科学、人間工学、被服科学、運動施設工学等健康の増進と体力の向上に関わる学術、およびその他スポーツ振興に寄与する学術に関する講座を持った大学、およびこれに準ずる研究機関に所属する個人またはグループ。 2 高校生から幼児までの教育機関に奉職しており、1に前述した分野で研究または調査活動を積極的に行っている個人またはグループ。	第一部「課題学術研究」 1件100万円～300万円(研究期間2～3年、件数2～3件) 第二部「自由課題学術研究」 最優秀入選100万円、優秀入選50万円 30件を予定 受賞者は、2019年6月に正式発表し、助成金は、7月31日までに交付する。	報告 第一部 研究期間により別途設定 第二部 2019年10月31日
2018/7/26	締切2週間前	2018/9/中旬～2018/11/中旬 予定	未定	文部科学省 JST 「地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム」の平成31年度研究課題の募集(予告) 応募方法詳細は公募開始日にwebに掲載します	文部科学省 科学技術・学術政策局 科学技術・学術戦略官(国際担当) 付 〒100-8959 千代田区霞が関三丁目2番2号 TEL 03-6734-4055 国立研究開発法人科学技術振興機構国際部 SATREPSグループ 〒102-0076 東京都千代田区五番町7 東京本部別館(K's五番町ビル) TEL 03-5214-8085 Email global@ist.go.jp 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 国際事業部 国際連携研究課 〒100-0004 東京都千代田区大手町1-7-1 読売新聞ビル TEL 03-6870-2216 Email amed-satreps@amed.go.jp JST:http://www.ist.go.jp/global/koubo.html	SATREPS (Science and Technology Research Partnership for Sustainable Development)は科学技術振興機構(JST)及び日本医療研究開発機構(AMED)が、それぞれ国際協力機構(JICA)と連携し、科学技術の競争的研究資金と政府開発援助(ODA)を組み合わせることにより、開発途上国のニーズに基づき、地球規模課題の解決に向けた社会実装を目指す国際共同研究を推進するものです。 対象分野:【JST】環境・エネルギー/生物資源/防災【AMED】感染症 SATREPSは政府開発援助(ODA)との連携事業です。相手国研究機関から相手国のODA担当省庁を通じ、日本政府に対する技術協力要請注1が行われる必要があります。技術協力要請書の受付は既に開始しており、提出期限は、日本側での研究課題の公募締切より早く、今年度は平成30年11月2日(金)を予定しています。相手国政府内での手続きに時間を要することがありますが、相手国の事情によらず提出期限までに要請書が日本政府に届いていなければなりません。相手国での要請手続きや所要日数等注2について、相手国研究機関と早めに相談されることをお勧めします。	公募についての案内は今後、公式サイトに掲載します: JST: http://www.jst.go.jp/global/koubo.html AMED: https://www.amed.go.jp/koubo/index.html	【内訳】 JST/AMED:委託研究経費3,500万円程度/年 JICA:ODA技術協力経費6,000万円程度/年	研究期間:3～5年
2018/4/4	各2週間前	①②③ 2018/6/1 ④⑤ 2018/10/1 ⑥2018/6/1, 10/1 ⑦6月中旬、9月中旬、12月中旬、3月上旬	書類申請 及び電子申請	公益財団法人内藤記念科学振興財団 2018年度助成金募集 ①研究助成 ②若手ステップアップ研究助成 ③女性研究者研究助成金 ④次世代育成支援研究助成金 ⑤海外研究留学助成金 ⑥海外学者招聘助成金 ⑦講演助成金	公益財団法人 内藤記念科学振興財団 〒113-0033 東京都文京区本郷3-42-6 NKDビル8階 TEL 03-3813-3861 FAX 03-3811-2917 URL https://www.naito-f.or.jp/ E-mail joseikin@naito-f.or.jp	①人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的研究に独自の・先駆的に取り組んでいる研究者(年齢制限は無い) ②日本の研究機関に所属する研究者であること(ただし、国籍は問わない) ③当財団の選考委員と同一の教室(講座)に所属する者は申請することができない。 ④本助成金を受領した3年未満の研究者(2015～2017年度の受領者)は、申請することができない。 ⑤海外で行う研究は対象外とする。 ⑥内藤記念女性研究者研究助成金及び内藤記念科学奨励金・若手ステップアップ研究助成、内藤記念次世代育成支援研究助成金、内藤記念海外研究留学助成金を受領している者あるいは今年度申請した者は同時に申請することはできない。 ⑦日本国内で開催される学会へ海外から研究者を招聘する際の旅費および滞在費を助成します。招聘時期によって申請時期が前期と後期に分かれています。 ⑧日本国内で開催される国際会議について開催にかかる費用の一部を助成します。当財団の理事・監事および評議員または当財団の指定した学会代表者の推薦が必要となります。	①1.人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的研究に独自の・先駆的に取り組んでいる若手研究者であること(ただし、国籍は問わない) 2.日本の研究機関に所属する研究者であること(ただし、国籍は問わない) 3.過去の内藤記念科学奨励金・研究助成の受領者であり、当助成金申請時に報告書を提出済みであること。但し、2017年度内藤記念科学奨励金・研究助成の採択者は申請対象外とする。 4.申請締切時点で博士号取得10年以内の研究者であること。 5.内藤記念科学奨励金・研究助成申請時のテーマ、あるいはそれから派生したテーマに基づく申請であること。 6.当財団の選考委員と同一の教室(講座)に所属する者であっても、申請することができる。 7.海外で行う研究は対象外とする。 8.申請時及び助成期間中に、内藤記念科学奨励金・研究助成、内藤記念次世代育成支援研究助成金、内藤記念女性研究者研究助成金、内藤記念海外研究留学助成金、いずれも申請する事はできない。 ③以降は要項参照のこと	①300万円 ②3年間で総額1000万円 ③年間200万円を3年間 ④年間200万円を3年間 ⑤450万円 ⑥エリアにより異なる20万円～80万円 要項参照 ⑦1件50万円	報告書提出時期等については要項参照のこと